

2023年 5月

からし種

カトリック片瀬教会



復活祭のために感謝
今後に神様の御助けを願って

ブランチフィールド神父

今年はずばらしい復活祭に恵まれた。青空であって、コロナが流行ってから4年ぶりに10時のミサに御堂が満席で、とても感動的であった。ミサ後のパーティも大成功で、久しぶりに知り合いと話しあっている人々が多かった。神様に感謝しながら、その日のために準備してくださった人々にありがとう。

教会はいよいよコロナの影響から立ち上がろうとしている感じ。今後この勢いをなくさないようにしましょう。

第一に、コミュニティのみなさんに活発に動いてほしい。集まりを設けて、ほとんど来られていない人々に声をかけて、温かい共同体の心を新たに体験できるようにしましょう。

それから、聖霊降臨の日が来ます。5月28日は教会の誕生の祝いです。洗礼を受けている私たちみんなは宣教に呼ばれているから、信じている心を隠さずに、知り合いに神様の恵みを分かち合いましょう。

そして6月11日、ご聖体の祝いです。これから日曜学校と子どもたちの初聖体の準備が始まります。親御さんのご協力をお願いします。受洗していない子どもたちも歓迎します。

では、コミュニティ、宣教活動、そして日曜学校、夏のお休みまで目標にしましょう。

2023年5月度 教会委員会報告

開催日時：2023年3月16日(日)午前11時35分～12時45分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、副委員長、財務、典礼、宣教司牧、福祉、総務、
教会学校、一粒会、市内キリスト教連絡会、シャルル聖^パ加修道女会片瀬修道院、聖母訪問会

□ブランチ神父のご挨拶

復活の主日のミサの最後に、目立たない所で活動していた色々な人達に感謝する話をしました。これは大事なことです。先週考えたことは、今年委員会を降りた人もいます。この方々はほとんど毎日教会を出入りしていました。彼らは本当によく働きました。この頃教会に出入りする人が少なくなり寂しくなりました。いつでもいいですから教会に来てください。新しい目標は聖霊降臨です。これまで意味深いことが続きます。よろしくお祈りします。

□報告および連絡事項

1. 池尾委員長より：3月26日に行われた第5地区 教会委員長会議、共同宣教司牧委員会の報告が別紙であった。
2. 2023年WYD(World Youth Day)の参加者は無い。
3. 典礼部より：横浜教区典礼研修会を6月11日(日)に行うことになった。
4. 教会委員会 特命非常勤島村さんは、復活の主日をもって委員を外れました。今まで有難うございました。
5. 福祉部より：アルクより今年も夏の合宿を片瀬教会で行いたいとの連絡あり受付けた。
6. 宣教司牧部より：見学予定2件。
 - ① 5月16日 11:00～12:30 藤沢江の島ガイドクラブ見学 35名
 - ② 6月10日 13:00～15:00 神奈川ヘリテイジマネージャー協会 歴史的建造物保存促進協会 30名程

□ 検討・決定事項

1. コミュニティの集い活性化
 - 1) 委員長よりからし種5月号に定期的活動をしている藤沢北部の取り組みを紹介する記事を載せてもらい、皆の参考にする。
 - 2) コミュニティ一覧表を掲示板に貼っておき誰もが自分のコミュニティを確認できるようにする。
2. マドンナ会、ヨセフ会統合案に関するアンケート
 - 1) アンケート結果速報
 - ① 配布395人、回収数52件
 - ② 統合賛成33人、現状維持11人、その他の形態8人
 - 2) 結果取り纏めは、正副委員長、総務で行い6月度教会委員会に報告、内容承認後からし種にて信徒に公開する。⇒承認
3. 横浜教区 共同宣教サポートチーム 2023年度研修
 - 1) 研修一覧表をコピーし、ミサ時に信徒がもって行けるようにする。詳細は掲示板に掲示する。

- 2) 特に⑩「カトリック入門講座担当者養成コース」が当教会に必要で、司祭からも受講要請あり、4名程募ることになった。ふさわしい人がいれば推薦する。池尾委員長は受講することを決めている。
4. 総務より提案で、コロナ対策の消毒・検温器は感染法上の分類が5類に変わる5月8日以降撤去する。消毒が気になる人は個人で対応してもらうようにした。⇒承認
5. 聖堂入口奥側の掲示板は、引き出しが塞いでいるため少ししか使用できなかった。引き出しをずらして、掲示板の前を開ける様にする。⇒承認
6. 営繕より、信徒会館外装修理は、2社見積を取った。A社「防水シート被せ工法」2,356千円、B社「塗布防水工法」2,263千円。「防水シート被せ工法」は「塗布防水工法」より100千円程高いが、会館の傷み状況からこちらの方が望ましいと提案があり、承認された。
7. 営繕より物置リニューアルは、平塚ユニディに見積を取った。既存物置解体処分、物置設置工事で1,250千円程度、承認された。また、トイレ脇の掃除用具を保管する物置も更新することになった。
8. 司祭不在時の緊急連絡対応（葬儀の依頼等）は、司祭の要望で事務所での電話当番制（月～金 10時～16時）、総務から各部で日替わりに受け持つ案が示され、承認された。
- ① 希望の曜日があれば総務へ申し出る。
 - ② 当番のやり方は各部に任せるが、基本的な対応方法は、マニュアルを作る。
 - ③ 必ずしも部員でなければいけないということではなく、部外者をお願いすることでもよい。
- 2) 司祭の携帯電話番号を全信徒へ告知する。告知方法はからし種に緊急連絡対応についての記事を載せ、その中に電話番号を入れる。
9. その他
- 1) 横浜教区の研修に関連し、カトリック入門講座担当者養成もさることながら、当教会内での3部門の役割、活動を育てていく必要があるとの意見が出された。

次回委員会開催 5月21日

聖歌隊よりお知らせ

5月28日の聖霊降臨の主日では典礼聖歌352番「聖霊の続唱」と、5月はマリア様の月と言われているので、14日母の日に「O Sanctissima（おお いとも聖なるお方）」を歌います。つきましては、一緒に歌って下さる方を募集します。

「O Sanctissima」はバチカンでも歌われているという有名なシチリア調のメロディで聴いたことがある方も多いのではないのでしょうか。毎10時ミサ後20～30分の練習をしますのでお集まりください。

今年の聖週間を振り返って

池尾昇治

今年の聖週間、皆さんはどう感じられましたでしょうか。コロナがだいぶ下火になって、ここ2、3年の様子とは違うと感じられたのではないかと思います。

まず聖木曜日、洗足式の出来事。典礼がいつも悩むのは、洗足式をやる人が少ないということでした。「数人いればいいかな」という具合。特に今年は神父が当日にやってもらう人を決めると言っていたのでどうなるか心配だったらしいです。何人かには声をかけていたとの事。ところが蓋を開けてみれば、14人程の人が出てきて、中には女の子もいて何だか和気あいあいの雰囲気になり、神父も終わりに「今日は、何だか家族的だったね。」と感想を述べられ笑いを誘っていました。

聖金曜日はそれこそ静かに行われました。復活徹夜祭は、暗闇の中で復活のろうそくが灯され、火が一人一人のろうそくに移されて広がっていき、荘厳な「復活賛歌」が歌われキリスト復活の体験を得ることができました。この神聖な雰囲気のうちにもめでたかお二人の方が受洗され、「諸聖人の連願」も歌で唱え、また答唱詩編とアレレヤ唱を歌うようになりミサの雰囲気も華やかになったと感じます。

復活の主日は、8時、10時のミサ共多くの人が参列しコロナ禍前に戻ったという感じでした。数年ぶりに来られた人もいて、ミサ後のティーパーティーも気持ちいい屋外で楽しくおしゃべりしたひと時でした。

この素晴らしく感じた聖週間は、神の働きと共に典礼関係はじめ色々な方々の奉仕があったからでしょう。典礼部は1ヶ月以上前から準備に入り詳細まで調整をされていました。主日の祭壇の華やかな花も準備が大変だったと思います。聖歌隊も「復活の続唱」と「Cantate Domino」を有志の方々を加えてミサ後の練習を続けてきました。マドンナ会、ヨセフ会が中断している中、率先してパーティーの準備をして頂いた方々もご苦労様でした。

そしてなんといっても子供たちの活躍だったと思います。聖週間の侍者、主日ミサ入祭のハンドベルはウクレレ、オルガンとの共演、卵の殻を木の枝にぶら下げた飾り。これは聞くところによるとドイツの伝統的な飾りだとか。殻には一つ一つにきれいな絵が描かれています。この飾りを見ているうちに一人一人が力を合わせれば素晴らしい世界ができるんだと改めて感じました。子ども達有難う。感謝のうちに。



復活祭の卵の伝統と私たちの信仰の印

菊地クリスティーナヨハナ



ご復活おめでとうございます！キリストは真に復活されました。墓は空となり、私たちは自由になりました。なんと大いなる喜び、大いなる希望でしょう！

今年、教会学校の子供たちは、その他の老若男女とともに、皆様と喜ばしいお祝いをするために、準備をしました。

4世紀、すでに最初のキリスト教国家であったアルメニアでは、復活を象徴する卵が、復活祭の贈り物として用いられていました。これらの卵は元々私たちの救いのために流された救世主の聖なる血を記念するために赤く着色されていました。東方諸国ではこの伝統がまだ残されています。

12世紀以来、西方教会のキリスト教徒の間では卵を装飾するための様々な手法が発展してきました。今年、私たちは、古来のキリスト教のシンボルを使って卵

を装飾しました。



これらのシンボルの筆頭は十字架です。十字架は私たちの救いの永遠の揺るぎない印です。十字架はいかなるときも、どの時代にも、全ての暗闇の力に対する勝利を示します。十字架は私たちが死から命へと移行した場所でもあります。今日、そして常に、私たちは、十字架の下に来ることで、救済と復活を見つけることができます。十字架は、神にとって私たちがどれだけ貴いか、それぞれの人に対する神の愛がどれだけ大きいものか、そして、私たちが神に戻り、ともにあるために、どれだけ代償が必要かを私たちに決定的に伝えます。



イエス。この聖なる名はそれだけで祈りです。イエスの名には力と権威、癒し、勝利、そして礼拝があります。イエスの名によって私たちは神の右の座にとともにあります。



聖なる信仰を告白するキリスト教徒は迫害のうちに秘密の印を作りました。これらの印は私たちの全ての苦難を超える希望を伝えます。

私たちの作った卵の飾りに近づいてよく見てみれば、そこにイエスご自身、イエスの約束、聖霊、そして創造の奇跡が見えてくることでしょう。ともに主をほめたたえましょう！



洗礼おめでとうございます！

4月8日、復活徹夜祭ミサの中で、2人の受洗者の洗礼式が行われました。光の儀式に続き、コロナ禍が明けて初の答唱詩編の歌が響き、厳かな式となりました。

感謝

マリア フランシスカ Y.Y.

この度、ブランチ神父様をはじめ皆様のおかげで、心新たに洗礼を授かることができありがとうございました。私は、カトリックの学校でしたので、幼い頃近くにあるこの片瀬教会に一時期、父や母と通っていたことが思い出されます。

その後、仕事・子育てに追われる日々でしたが、導かれるようにこの地に戻ってまいりました。自分を見つめ直す時間もでき、亡き母が



片瀬教会に通っていたこともあり、時々御ミサに与るようになりました。そのような中、Kさんと不思議なご縁で出会い…

私の背中をやさしく押してくださり、一步を踏み出し「聖書講座」に参加することが出来ました。何もわからない私は、皆様の温かい雰囲気に取り込まれ、少しずつ心も和んでいきました。

まだまだ信仰も未熟ですが、皆様のお力もいただきながら、感謝を忘れず祈り、深めてまいりたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。

心に残る素敵な時間

マリア プリシア E.F.

思えばちょうど1年前の灰の水曜日のころ、色々なご縁から片瀬教会に通う機会を頂き、ちょうど1年が経ちました。

教会に通い始めてすぐ、カトリックについて何も知識がない私にも神父様との聖書の勉強会に参加させて頂く機会を頂き、一緒に勉強をする大切な仲間もでき、その中で色々な学びがありました。

そして迎えた先日の洗礼式はとても厳かであり、また温かい雰囲気の中洗礼を受けさせて頂く事ができ、とても感慨深く心に残る素敵な時間となりました。

この一年間、片瀬教会の皆様には夫婦ともに本当にお世話になり、とても可愛がって頂いたと改めて感じました。ブランチ神父様はじめ皆様に、心より感謝申し上げます。



聖書講座

「聖書と典礼」講座を受けて

クララ M.K.

毎週水曜日の「聖書と典礼」の講座を受けるようになって二年になります。この講座が始まった年に受洗したばかりの私にとっては、次週のおミサの予習のようなこの講座はとても有意義な時間でした。

講座の中で神父様は、心に感じる事などを自発的に発言するよう、私たちに促される時があります。ところが、遠慮深く気の弱い(?) 私たちは無言で下を向いていることが度々。そんな様子に神父様はちょっと悲しそうな顔に……。

そして神父様のお話の後には、毎回少人数のグループに分かれ、心に響いた事や疑問に思った事を自由に話し合う時間が持たれます。すると、それまでの遠慮深さはどこへやら。活発なディスカッションが始まり、お互いの疑問や思いを共有する楽しいひと時になります。時には神父様もそれぞれのグループの間を廻りながら、話の輪に加わって下さいます。

講座を通して神父様が常に私たちに話して下さることは「神様の愛」です。ともすれ

ばその愛に気づかずに、日々の生活を送りがちな私には、週に一度のこの講座はやはり有意義なものになっています。

ブランチ神父様の「聖書と典礼」講座を受講して…

マリアセシル E.K.

2021年6月開講時から、受講しております。はじめは聖書の随所に出てくるイエス様のたとえ話の内容が理解できず…「放蕩息子」（ルカ15；11～32）は兄の方がかわいそうに…「ぶどう園の労働者」（マタイ20；1～16）では何と不公平なこと！…とっていました。しかし、神父様のお話から「神の国」の考え方が少しずつ理解できるようになり、根底には「神様が私たちをはじめに無条件で深く愛してくださいました」ことへの感謝を忘れてはならないことを実感しました。

ミサの流れも、ただリーフレットを目で追っているだけでしたが、入祭唱、集会祈願、第一朗読、答唱詩編、第二朗読、福音の全てが、関連した内容であることを知りました。そして何と言っても講座によりミサの予習ができるので、主日に神父様のお説教をしっかりと心に留めることができます。

気軽に声を掛け合う「信仰の友」も、講座のグループディスカッションを通じて、教会共同体の一員である意識や、行事への参加の楽しみも増します。神父様の目指すところのコミュニティーも講座仲間から地域へ、地域から講座へと広がっていくことと思います。ぜひ、みなさま講座への参加をお待ちしております。

きっと時間に追われる日々の中で、神父様と仲間と共に「神の国」に心を向ける貴重な時間になると思います。

参加者募集中！ ブランチ神父様の「聖書と典礼」講座 ～イエス様の時代へ宝探しの旅へ～

その旅は、まず目を閉じて深呼吸をすることからスタートします。吸う時は冷たく、吐く時は暖かく、生まれた時から今まで休むことなく、「命の息」を今日も神様の御手から頂いていることへの感謝の祈りです。

旅の切符は、次週の主日ミサのリーフレット（聖書と典礼）です。入祭唱から順に福音まで読み進めて行くと、もうそこはイエス様の時代に到着です。

難しい内容は、神父様が分かりやすく説明してくださり正に「目から鱗が落ちる」（使徒言行録9；18）ような状態になれます。心に残った聖句や話題にしたい聖句を発表し、グループに分かれそれらから「神様のメッセージ探し」のディスカッションをします。最後に神父様から福音のポイントのお話があり、それがこの旅のお土産＝宝物となります。この宝物は、大事にしまっておくのではなく、旅から戻ったら毎日の生活に活かしていきます。

みなさまも一緒に、ブランチ神父様と宝探しの旅に参加しませんか。（E.K）

答唱詩編を歌って下さる方を募集します

池尾昇治

コロナ禍で長らく中断していた答唱詩編、アレルヤ唱の歌が4月8日の復活徹夜祭から再開されました。答唱詩編は従来聖歌隊が順番に歌っていましたが、聖歌隊の人数も極端に減り、同じ人が歌う頻度が高くなってしまいました。

そもそも、答唱詩編とはなんのでしょうか。横浜教区の典礼コーナーでは、「第一朗読の後、聴いたみことばをしばらく静かに味わい、『神のことばの黙想を助ける』ために歌われるのが答唱詩編です。詩編唱者は、詩編の意味を前もって理解し、味わい、上手に歌おうという気持ちではなく、マイクを使うなど、神のことばが会衆に届くように配慮して歌います。会衆は詩編を聴きながら、第一朗読で告げられたみことばを黙想します。」とあります。

ですから、詩編の部分は朗読に音の高さをつけたものとみなすことができ、何も聖歌隊だけがするものでもないのです。既に二人の女の子が歌いたいと手を挙げてくれ4月のミサで歌ってくれました。誰でも志のある方は申し出て下さい。多くの方が多くの奉仕に関わって生き生きとしたミサを挙げたいと思います。お待ちしております。

コミュニティの活動を活発にしましょう

教会委員長 池尾昇治

昨年3月にコミュニティの集いを作ってから、はや1年経ちます。2回ほど一斉に集まりましたが、その後「コミュニティの集いを活発化しよう」という掛け声だけに終わってほとんどのコミュニティの集まりはありませんでした。ここに再度呼びかけをすると共に、唯一定期的に集まりを行っている藤沢北部の取り組みを、連絡係の方から何をしたかというメモを頂いていますので、その内容をご紹介しますと思います。

藤沢北部では、開催のお知らせが流れますのでご存知の方も多いと思いますが3か月に一度程度の頻度で集まりを行っています。内容を拝見すると、

1. はじめの祈り、
2. 「主の祈り」や「すべての命を守るためのキリスト者の祈り」を唱えます
3. 短く自己紹介
4. お互いの消息の情報交換
5. 「今日のテーマは何にしますか？」ということでその場でテーマを決め話し合いをする（3月の内容は信仰的なことでした）
6. 次回予定を決める（3月では日程をきめました、話し合う内容は特に決めないでクリスチャンとしての心に残ること）
7. 終わりの祈り、アヴェマリアの祈り

以上、大体1時間くらいだそうです。何かしなければならぬとむきにならず自然体

で集いを開いていることが素晴らしいと思います。どうか他のコミュニティもこれを参考に集いを開いてください。そして信徒の輪を広げて行きましょう。色々な具体的活動を望まれる声も聞きますが、それはまず交わりを広げ深めていった結果に出てくることだと思います。コロナも治まりましたので、ぜひ対面での活発な交流をお願いします。自分がどのコミュニティに属するか分からない方のために聖堂入口に「コミュニティ一覧」を掲示しています。

● 5月の典礼

2 日(火)	聖アンタナシオ司教教会博士	26 日(金)	聖フィリポ・ネリ司祭
3 日(水)	聖フィリポ 聖ヤコブ使徒	28 日(日)	聖霊降臨の主日
7 日(日)	復活節第5主日	29 日(月)	教会の母聖マリア
14 日(日)	復活節第6主日	31 日(水)	聖母の訪問
21 日(日)	主の昇天 (復活節第7週)		

● 5、6月の予定

- 5月 16 日(火) 教会見学
- 5月 21 日(日) 6 月度教会委員会 ミニ福祉バザー
- 6月 10 日(土) 教会見学

2023 年 5 月号

発行 カトリック片瀬教会
 〒251-0035 藤沢市片瀬海岸2-2-35
 TEL/FAX 0466-22-4646

<https://www.catholickatasechurch.com>